



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 16 | Issue 3 | March 2013

★Celebrating 15 years★

➡ In this issue...

- ▶ ISA results...p. 2
- ▶ Ways to help your child if bullied...p. 3
- ▶ MYP personal project exhibition...p. 6
- ▶ MUN near east scrimmage...p. 7
- ▶ Inquiries in Grades 2 and 3...p. 8
- ▶ Spotlight on clubs...p. 10
- ▶ Middle school spelling bee...p. 11
- ▶ Library news...p. 12
- ▶ Art news...p. 14
- ▶ Karuta at KIST...p. 15
- ▶ Middle school brain bowl...p. 16
- ▶ Alumni reports...p. 17, 18

“Education is a progressive discovery of our own ignorance.”

—Will Durant

From the Head of School

寒さも少しずつ和らいで参りましたが、皆様には如何お過ごしでしょうか？

今学校の校庭にはひっそり梅の花が咲いていますが、皆様はお気づきでしょうか？

狭いキャンパスですが、学校にはいろいろな種類の木々があります。4月始めには皆様を楽しみにしている桜が、そして5月には五月の花が咲きます。その他、松、ヒバ、銀杏、榎、夏みかん、姫リンゴ、ソテツ、藤、ブドウ、ザクロ、ナツメヤシ、貝塚イブキ、そして学校で一番大きな木、初夏に薄紫の花を咲かせる桐など、など。皆さんはそれぞれがどこにあるか知っていますか？

木々の緑や花々は本当に人の心に安らぎを与えてくれます。春の初めに当たり、皆さんがキャンパス内の身近な木々、草花の中で四季の移り変わりを楽しんで頂ければと思います。

東日本大震災から早くも2年が経ちました。当時被災者支援で訪れた現地の言葉に表せないほど荒涼とした状況が今更ながら思い出され、今私たちに与えられている環境が決して当たり前ではないことを痛感させられます。

私は今を感謝し、日々の生活の中で、自然に親しみ、感じることで心をリフレッシュさせ、豊かに保ちながら、その感謝の気持を他人のために役立つことで、表せる人間でありたいと思います。KISTでは昨年同様3月11日に被災者の皆様のご冥福と被災地の一日も早い復興を祈り、黙とうを捧げます。この日を振り返ることで、KISTコミュニティの皆さん全員がこの思いを新たにされることを心から願っています。

最後になりますが、今、学校では来年度に向け、いろいろなエリアでさらなる向上を目指し、様々な取り組みが進んでいます。2月に行われた今後の学校の取り組みについての保護者説明会には本当に大勢の皆様に参加頂きました。そして多くの皆様から新しい取組について高い評価を頂きましたことをとてもうれしく思います。皆様からのご意見、ご提案は大歓迎ですので、どうか遠慮なく私宛お寄せ下さい。(2013年3月6日、学校にて)

Yoshishige Komaki
Head of School

DATES TO REMEMBER



March 2013

- 15 (G1-G12) Clubs program ends
- 20 Student-led conferences
- 23-31 Spring break

April 2013

- 1 School resumes
- 8 (G1-G12) Clubs program resumes
- 12 (G10) DP subject options evening
- 15 School photographs (New and absent students)
- 17 (G6-G10) Math field day
- 24-25 (G5) PYP exhibition
- 26 (G12) Last day of classes
- 29 School day

May 2013

- 2-22 (G12) DP examinations
- 3-6 Golden Week vacation
- 16 (W) Free dress day
- 22-23 Concert rehearsals
- 24 KIST on Stage (School concerts)
- 24 (G12) Semester 2 reports issued
- 29-31 (G9-G11/EIC) Semester 2 examinations
- 29 PTA annual general meeting
- 30 (G4-G5) Track-and-field event
- 31 (G1-G12) Clubs program ends

June 2013

- 1 Family Day
- 3 School holiday
- 5 (S/EIC) SRC dance
- 6 (G12) Graduation rehearsal
- 7 (G12) Graduation ceremony

ISA Results

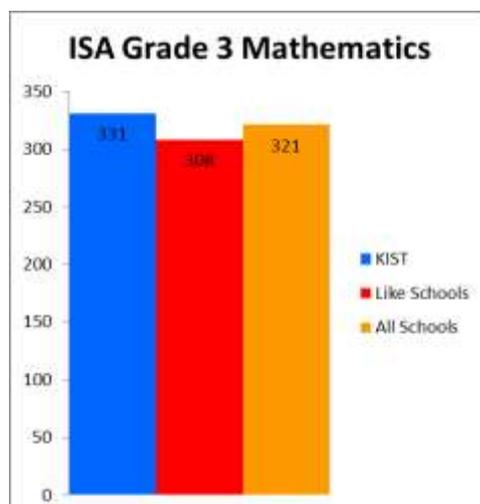
今年度10月にG3-G9の生徒を対象にISAテストが行われました。各生徒の結果はセメスター1レポートと共に配布されました。他のインターナショナルスクールの結果と比べるために各学年の平均点がグラフ化されています。この平均点は50ヶ国、122校のインターナショナルスクール、31,000名の生徒の結果の平均となっています。学年ごとの平均と全体との比較は、今回のCometの添付資料として送付させていただきますのでそちらをごらんください。

グラフには当校の結果（青色）のほか、英語を母国語とせず学んでいる生徒の割合が当校と似たような環境にある学校（赤）、テストを受けた全ての学校の平均（緑）の平均が示されています。例として下記グラフをご覧ください。

このように校外で採点されるテストを導入する理由として、当校での学習と指導の向上という事がひとつ挙げられます。昨年のISAテストの結果を基にエレメンタリースクールでは、リーディングの学習と指導に力を入れてきており、段階を踏んで良くなってきています。今年エレメンタリースクールの全教員は、世界的に知られている教育指導者である、Carrie Ekeyが行ったリーディングに関するワークショップに参加しました。このプログラムをサポートするにあたり、各学年のレベルにあった多くの本を購入し、各クラスルームライブラリーに配置しました。今年度の結果から、今後はライティングの学習と指導を強化していきます。来年度のワークショップはライティングに関するものを行う予定となっています。

各クラスルームへのリテラシー教材追加と、リーディング強化を継続して行ってきた事に加えて、来年度計画しているワークショップを行う事により、生徒の学習が更に良い物になっていく事が期待されます。

Kevin Yoshihara
Elementary School Principal



New Faces

ここ数週間で新しいスタッフを迎える事ができました事をご報告します。新しいスタッフと一緒に働ける事を嬉しく思っています。KISTコミュニティを代表し、皆様の健闘をお祈りします。



Christie Chungさんは、エレメンタリースクールのK3教員としてKISTに加わりました。

“KISTメンバーの皆さん、こんにちは。私、Ms. Chungは昨年の夏にNew Jerseyから日本に来ました。KISTの皆様にとってもよくお迎え頂き、ここに居られる事をとても嬉しく思っています。今年度残りの期間、素晴らしいK3Bのご家族の皆様と過ごせる事を楽しみにしております！”



Cecille Orquiolaさんはセカンダリースクールの新しいMYP/DPテクノロジー教員としてKISTに加わりました。

“皆さん、こんにちは！とても温かくお迎え下さり、ありがとうございます。私、Cecille Orquiola [or-kyo'-la]はとても興味深いMYPとDPのTechnologyを教えています。K-12の教員となり今年で12年目になります。ここに来る前には、Commercial Artist(商業芸術家)として活動し、最初は高校で美術を教えていました。他に、テクノロジーを含む様々な教科を、母国と海外で教えてまいりました。KISTの一員となれた事を大変嬉しく思っており、そのうち皆様にお会いできる事と、素晴らしく、クリエイティブな日本の文化と言葉に触れていく事を楽しみにしています”



Timothy Smithさんは、エレメンタリーのK2アシスタントティーチャーとしてKISTに加わりました。

“皆さん、こんにちは。私はイギリスBirmingham出身のTim Smithです。日本で先生として働き8年が経とうとしており、KISTの一員となれた事を大変嬉しく思っております。私を見かけましたら、是非お声掛け下さい。皆様とお会いできる事を楽しみにしています”



Makiko Whittakerさんは、学校オフィスのスクールナースとして加わりました。

“スクールナースのMaki Whittakerです。1月10日からKISTで働きはじめました。ここに来る以前は、小児科新生児特別ケアユニットと産婦人科で働いていました。活気にあふれた子供たちを学校で見ると、楽しみにしており、子供たちが安全にケアを受けられる環境をナースルームで提供していきたいと思っています”

Elementary School News

エレメンタリークラスルーム ライブラリー

本年度は、9月にリテラシー(読み書き能力)教育の専門家として国際的に有名な教育コンサルタントCarrie Ekey さんが当校を訪れ、エレメンタリーのスタッフに特別研修をしてくださいました。その際彼女は、リテラシー学習をより充実させるために、教室内の図書をもっと増やしたほうがよいとアドバイスをくれました。

KIST PTAのご協力により、各教室にふさわしいレベルのグレードレベルブックを新たに200冊以上購入することができました。PYPコーディネーターのMs Heardが音頭をとって、ライブラリアンのMs Findlayはじめ、エレメンタリースクールの教員、保護者ボランティアの方々が、たいへんな量の本のセレクションと購入プロセスを辛抱強くこなしてくださいました。現在、購入した本は教員と生徒が利用できるよう各教室に配られているところです。PTAはじめ 教室図書の充実に努力してくださいましたすべての方に感謝いたします。ありがとうございました。

Kevin Yoshihara
Elementary School Principal



Ways to Help your Child if Bullied

親御さんとして、もっともご心配なことのひとつは、お子さんがいじめにあったときどうしたらよいかということではないでしょうか。いじめは、お子さんの学業、友達関係、感情面の好ましい状態を阻害します。もし、お子さんが学校でいじめにあっていそうだと気が付いたときは、まずお子さんに“正の強化”をあたえてください。たとえば、勇気をもってそのことを話してくれたことをほめ、いじめられているのは、お子さんのせいではないことを強調してください。お子さんの話をよく聞き、どのような状況でどのようなことが起こったのかをお子さんに説明してもらってください。親御さんも感情的になり、ただちにお子さんを助けたいと思われるかもしれませんが、どうぞ冷静を保ち、お子さんが話を聞いてもらっていると感じるように、話をきいてあげてください。

次のステップは、事実情報を集め、お子さんがいじめのターゲットになっているのか、あるいは、何らかの対立に関わっているのかを見てください。この時点で、いじめに対応する方法をいろいろ考えてお子さんを助けることができます。次にいじめの対象になったときにはこうなさい、とお子さんに言う親御さんがいますが、これはお子さんが自分で状況に対処する自信を持たせるにはあまり役に立ちません。何をすべきかお子さんに言うのではなく、いじめにどう対応するかを自分で考えさせる。そうすることによって、自分に力を与え、自信を育むことができます。

Mr Fishman が生徒にお勧めしている戦略は次のようなものです。

助けを求める - いじめにあって困っているときは 両親、先生または Mr Fishmanに話をして助けを求める。and get a

自分を強く主張する - 「私メッセージ」などを使って堂々と主張する。「君が僕の算数の試験が悪かったことをクラスのみんなにいいふらされて、僕は本当に恥ずかしかった。もう二度とそんなことはしないでほしい」

ポジティブな独り言 - いじめられて心が傷ついたときは自分の気分を高め、起こったことをポジティブに考え、自分には自分の気持ちを考えるという選択肢があるのだと前向きに考える。「あなたが劣等感を感じているとしたら、それはあなたがそれもしかたないと思っているからです。」

Eleanor Rooseveltの言葉

Mr Fishman に会いに行く-さらなる戦略やサポートを提供します。

校長先生 Mr Yoshihara かMr Rothkopf. **に報告する**

これらの方法や戦略は役に立ちますが、大切なことはお子さんとお父さんとお母さんがつながっていること、オープンなコミュニケーションを保つことがお子さんとのポジティブな関係を維持し、お子さんが常に親御さんに助けを求められるという安心感を持てるような信頼関係を気づくことができます。何かさらなる手助けが必要な場合は、どうぞいつでもMr Fishmanにお会いになり、いじめの状況でひとりお悩みにならないでください。

Benjamin Fishman / Student Welfare Counselor



PYP News

エレメンタリー集会

今年からエレメンタリースクールでは生徒主導の集会を行っています。この集会は生徒が自分たちの学びを共有し、祝い、そして示す機会です。各クラス他のクラスの前で発表する責任があります。生徒は直接企画、計画、準備に関わります。そして集会は自分たちで先導し、進めなくてはなりません。

他のクラスルームではどんなことを学んでいるのかを知るために月に約2回エレメンタリースクールで集まっています。今までには、劇、スピーチ、パワーポイントプレゼンテーション、本や歌などを通じた発表が行われました。生徒たちは自分たちが学んでいる探究ユニット、学習者像、姿勢、休み時間のルール、リテラシー(読み書き)や算数について学んだことを共有してくれました。また、レコーダー、オカリナ、ピアノなどの素晴らしい音楽の発表もありました。

集会はエレメンタリースクールが1つのコミュニティとなり、愛校心や学校に対するプライドを育てる素晴らしい方法です。生徒はプレゼンテーションやコミュニケーション能力、自信と熱意を見せています。また、集会は生徒に話を聞く力をつける良い機会となっています。

集会は通常の火曜日の午後2時30分から行われています。次の集会は3月19日(火)です。是非立ち寄ってみてください。保護者、ご兄弟、いつでも歓迎します。



エレメンタリーSRC

ESRCは今年も引き続き問題解決に取り組んでおり、エレメンタリースクールの生徒が意見を主張出来るようにしています。ESRCでは、リセスに遊べるゲームの企画に挑戦しました。ESRCは休み時間に何が出来るか、生徒にもっとアイデアを与えたいと思い、週に3回ゲームを企画しました。ゲームに使う道具の準備やゲームのやり方の説明も自分たちで行いました。そして彼らはどうやったら問題を解決できるか考え、毎週ゲームをよくする為に努力してきました。

ESRCはOctopus Tag, Duck, Duck Goose, Turtle Tag, Cops, Robbers and Clone Tagなどを企画しました。ゲームは大成功でした。彼らは生徒がプレイグラウンドで楽しめるよう手助けをし、また、生徒が普段一緒に遊ばないような生徒と遊べる機会を作りました。

ゲームを企画する為に自分たちの時間と労力をつぎ込んでくれたESRCに感謝したいと思います。

Elizabeth Heard
PYP Coordinator



Secondary School News

PTAからの楽器提供

昨年、Mother Tongue Language Day(母国語の日)や模擬国連、冬季コンサート、保護者と先生の交流会など、様々なイベントにてPTAのサポートがありました。PTAは定期的にミーティングを行い、議事録を保護者にEメールで送っています。しかし、実際に生徒の学習に与えている影響はあまり知られていないのではないのでしょうか。今回はこの場をお借りして、PTAの皆様からのセカンダリー音楽プログラムへの寛大なサポートにお礼をさせていただきます。昨年、PTAから“Principal's Wish List”(願い事リスト)を頂き、セカンダリー音楽プログラムに必要であった楽器が寄付されました。写真の楽器はPTAからの寄付によるものです。



卒業生からの寄付

音楽に関連する事が続きますが、2011-2012年度の卒業生Cameron Bauerから思いもよらない、中古エレキベースと新品エレキギターの寄付がありました。多くの方がCameronを芽の出始めたミュージシャンとして覚えていくのではないのでしょうか。彼の好意にはとても感謝しており、音楽の才能と親切な心を合わせもった事を、とても喜ばしい事だと感じています。写真は、G12のDP



音楽クラスの生徒と、新しい楽器です。

チェスクラブ

G8保護者のMr. Guptaが、当校のチェスクラブ復活の手助けをして下さり、来期のチェスクラブ監督者になって下さ

る事となりました。他のクラブも同様に、保護者もクラブの手伝いをする事が出来ますが、先生と構成やスケジュールを決めなければならないため、必ずArea Principalまでご連絡下さるようお願いいたします。Semester 1の始めにMr. Guptaは連絡を下さり、今期のクラブシーズンからチェスクラブを始める事ができました。Mr. Gupta

と英語Subject Area Coordinator(教科主任)のMs. Cahillのご協力に感謝しています。

教科書交換

教科書には高い費用がかかるため、昨年度いくつかの教科書交換を試験



的に行いました。問題なく行う事ができ、ポジティブな反応を頂けたため今年度も6月に規模を大きくして教科書交換を行う予定です。この教科書交換の基本的な目的は、進学や卒業をする生徒が使わなくなる教科書を、これから進学し、それらの教科書が必要となる生徒に中古の値段で売る機会を提供する事です。これはG5からG6に進学する生徒、G6-10の学年の生徒や、これからG11でDPを始める生徒を対象に行われます。

学校は、推奨する売値を付けるシステムを設けてはいますが、全ての売買は買い手と売り手の間によって行われるものであり、責任を負う事ができない事をご了承ください。昨年のDP教科書交換は、授業への影響を限りなく少なくするため、放課後に行われました。下記の通り、昨年と同様に行われますが、規模が大きくなりDPだけでなく、MYPで使っている数学とScienceの教科書の交換も学校最後の週に行います。

2013-2014年度の教科書/デジタル用品リストは5月の中旬に更新され、教科書交換が行われる前に各ご家庭にEメールで送信されます。教科に

よって変更等がある場合もございますので、更新された新しいリストが送られた際には必ずご確認下さるようお願いいたします。ある教科書が学校で使われなくなった場合も、追加のサポートとして価値がある場合もあります。一度、売買が成立した際には返品等は受け付ける事が不可能となり、学校は買い手と売り手の間に入る事は出来かねますので、ご了承ください。この件に関しての詳細はまた改めてご連絡します。

Eメールでの保護者へのご連絡

2年前より、学校や先生からの保護者への連絡はEメールを通して行われています。学校が提供しているOffice 365をお使いになられていますか？基本的な学校からの連絡はEメールを通して行われるため、お使いで無い場合は、学校からの大事な連絡を受け取れていない場合があります。スマートフォンでのアクセスも可能で、とても便利になっています。分からない事や、ユーザーネームやパスワードに関してのご質問等は、直接ITオフィスまでご連絡下さい。学校にお越しになられた際に、正しくスマートフォンの設定を行い、Eメールを見られるようにしたい場合は一回オフィスにいるITサポートスタッフをお訪ねください。

Stephen Rothkopf
Secondary School Principal



Seller	Buyer
<ul style="list-style-type: none"> 希望価格を認識し、黄色の付箋に希望価格を書いて貼っておく 通常、希望価格は新品の教科書の半額、もしくは半額以下の値段です 封筒を教科書の裏に入れておき、名前と希望価格を書いておく 	<ul style="list-style-type: none"> 最新のリストに載っている本かどうか確認する 古い版の本でも使える場合があります。担当者かDP教科の教員がご質問にお答えします 購入したい本を選び封筒に正しい額のお金を入れる KISTのスタッフが価格を確認し、売り手の代わりにお金を集め、本を買い手に渡す

MYP News

MYP パーソナルプロジェクト展示会

学生寮の飾りつけ、バスケットボールの上達方法、水槽作りなど、37つの興味深く創作的なパーソナルプロジェクトが、3月1日（金）当校5周年目となるPersonal Project Exhibition（パーソナルプロジェクト展示会）にて10年生達によって披露されました。

とても興味深い様々なプロジェクトのプレゼンが作者本人達によって行われ、大成功を収める事ができました。生徒達には知識があり、想像力が豊かで、将来への計画性があるという事がわかりました。IB学習者像の特徴である、多岐に渡る分野への興味と、様々な才能やスキルが今年のパーソナルプロジェクトから示され、教育というのは探究のサイクルであるという考え方を再確認できました。

監督者になった先生方の協力にもより、全ての生徒がパーソナルプロジェクトの目的を達成する事ができ、MYPの最終課題を成し遂げました。しかしより大切なのは、パーソナルプロジェクトの過程を通して10年生達が、自分たちとコミュニティーにこれから先にある難しい学業への準備ができていると証明できた事なのではないでしょうか。

Vedrana Pavletic
MYP Coordinator



模擬国連 Near East スクリメージ

今年度の模擬国連スクリメージは2012年12月8日に行われました。St Mary's International School, Kinnick High, Yokota High, Zama High, Yokohama International School, Tamagawa Academyからの参加者と協力しながらKISTで主催する事が出来ました。模擬国連スクリメージは、co-secretary generalである私たちの始まりの挨拶をもって幕を開け、さらに、Tomodachiイニシアチブのアウトリーチマネージャーである、米日カウンシルのMr Rock Cheungと、米国大使館のMr Tom Duvalのお二方をゲストとして迎えての討論を私たち二人で進めました。お二方も模擬国連の経験をした事があり、模擬国連で学んだスキルを現実にもどのように活かすかを、二人の幅広い経験を元にお話して下さいました。

開会式を終え、各代表者はグループに分かれ、4つあるうちの一つのUN Councilにて一日を過ごしました。各生徒が駐在大使となり、国を代表して討論を行いました。国の代表としての役割に加えて、**Kouta (G10B)**はco-chair of the Security-Councilという役割も果たしました。

各グループでは様々な問題について討論を行いました：

General Assembly (国連総会)

1. 南シナ海の領土問題
2. 北極と南極の保護

ECOSOC (経済社会理事会)

1. 飢餓に苦しむ人口数減少のための法案
2. 文化的財産の原産国への返還

Human Rights Council (人権理事会)

1. 先住民の生活へのサポート
2. 女性への暴行防止対策法案

Security Council (安全保障理事会)

1. シリアの現状
2. 日本と中国の尖閣諸島についての紛争



全生徒、一日を通して模擬国連の決まりを守りつつ集会を楽しんでいました。KISTからの参加者からは熱意が感じ取れ、たくさんの新しい友達ができました。各評議会(Council)が最低一つの決議案を通す事が出来、今回は特に成功したカンファレンスだったと思います。5つのCouncilに分けて行われていた集会終了後、学校体育館に集まり各グループがどのような事を行ったかを共有しました。

Administrative Assistantとして助けて下さった生徒の皆さん、Yearbookのために写真撮影を行って下さった皆さん、ありがとうございます。来年はより多くの生徒が模擬国連に参加してくれる事を願っています！

Ria and Monica (G12A)



Grades 2 と 3 の探究

エレメンタリースクールにとってこの数か月はとても忙しいものでした。セメスター末、祝日のお祝い、遠足、新しい学習ユニット、インフルエンザ、出会いと別れ、など様々なことがありました。それはGrade 2と3でも同じです。

現在Grade 2では、電気が現代のテクノロジーにどのような影響を与えているか学んでいます。生徒はエネルギー源と、それらが電気を作るためにどのように使われているかを調べています。また、生徒は科学的方法で、様々な物の伝導性を確かめています。そして、「電流の戦い」としてThomas (直電流) と Nikola Tesla (交流) のどちらかを支持することで、比較と対比のスキルに磨きをかけています。ユニットの終わりには科学館に遠足に行きます。

Grade 3は「私たちはどのように自分たちを表現するか」のユニットを終わらせました。生徒はこのユニットからたくさんの知識を得たと共に、とても楽しむことが出来ました。このユニットで生徒達はたくさんの芸術作品に触れ、研究しました。そして、累積的評価課題として、生徒は自身で作曲した音楽に合わせてダンスを作りました。また、発表の際に背景として芸術作品を披露しました。このユニットで生徒は、文化がいろいろな媒体で伝えられているということを示すということを目指して努力してきました。生徒は学習体験の一つとして国立近代美術館へ様々な絵や彫刻を見に行きました。

探究ユニットの一環として、ゲストを招きカポエイラという特別な武術を見せて貰いました。カポエイラは空手やテコンドーのような格闘技に関係していますが、音楽に合わせて行う為、護身術というよりダンスのようなものです。楽器もとても独特で、様式的な動きのダンスにととても合っています。発表の最後には生徒も一緒にカポエイラの動きに挑戦しました。

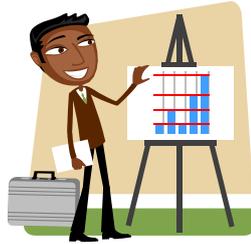
Anthony Theilen
Grades 2 and 3 Team Leader, Grade 2 Teacher



DP News

Grade 11: Extended essay (課題論文)のプレゼン

3月1日(金)にG11は少人数のグループに分かれて、それぞれが選んだExtended Essay (EE、課題論文)のトピックと現時点でどこまで調べたかについてプレゼンテーションを行いました。



EEとは、自身が興味を持った学術的トピックを生徒がリサーチする機会を与える課題です。EEはIB Diplomaでは必須課題となっており、生徒のリサーチスキル、時間の使い方、知的好奇心を発展させます。最終的には、自身が決めたトピックのリサーチクエスチョンについて3000-4000字の論文を書き上げることとなります。

G11生徒の保護者の皆様はMoodleを使いEEについて詳しく知る事により、生徒を助ける事が出来るようになる事と思えます。Moodleにある、DP Extended Essayのページには保護者の皆様が生徒を助けるのに必要な資料全てがあります。3月20日に行われるSLC(生徒主導型面談会)にて、生徒は保護者に自身のEEプレゼンテーションを見せる予定となっています。

次の大事な期日は5月の中旬にあります。それまでに最初のドラフト(下書き)を完成させ、スーパーバイザーとなっている先生からコメントをもらわなければなりません。

大変興味深いトピックやリサーチクエスチョンがあり、11年生が何を発見するのかを楽しみにしています。

Mark Cowe
EE Coordinator

Ferdinand Licuanan
Teacher-Librarian

Grade 12: DP模擬試験

2月の中旬にG12はとても大変な一週間を過ごしました！学習の達成度を知ってもらうための課題として、そして5月に行われるIB Diploma最終試験の予行演習として、模擬試験を受けました。生徒は6日間続けてテストを受け、そのうちの何日かは4-5時間かかりました。5月の最終試験は今回のスケジュールと比べれば、もう少し負担は少なくなるのでしょうか。

G12の行った模擬試験はG12セメスター2のレポートにも含まれる大事な課題でもありました。保護者は生徒の模擬試験の結果を直接学校データベースPower SchoolIIにアクセス、もしくは印刷された簡易レポートを見る事で模擬試験の結果を知ることが出来ます。

生徒に個別の最終試験の日程を既に渡してあるため、G12の保護者はお子さんに5月の最終試験の日程を聞く事ができます。残念ながら5月3日と6日にも試験があるため、G12にはゴールデンウィークがありませんが、5月の終わりに通常授業を終了する際には、2年間のハードワークの終わりを祝い、卒業式を迎えるのみとなります！

Mark Cowe
IB Diploma Coordinator



2013-2014年度カレンダー

海外旅行などの計画を立てやすくするため、2013-2014年度の学校の休みが下に記載されています。ご家族の皆様には、この予定に従い計画を立て、各休み終了後の初日から生徒が学校に登校する準備ができていますようお願いいたします。全ての予定が入った来年度のカレンダーは6月に配布されます。



学校初日: August 19

秋休み: October 27 – November 3

冬休み: December 14 – January 6

春休み: March 22 – 30

ゴールデンウィーク: May 3 – 6

KIST on Stage



会場の空き状況により、スクールコンサート“KIST on Stage”は5月24日(金)に船堀タワーホールにて行われます。全生徒参加が必須となっています。当日は3つのセクションに分けて行います:

Lower School Concert (K1 to G1): 10:30 - 12:00

Elementary Concert (G2 to G5): 1:30 - 3:30

Secondary Concert (G6 to G12): 5:00 - 8:00

セカンダリーコンサートとエレメンタリーのスペシャルパフォーマンスのオーディションは春休み後に行われます。オーディションについては音楽の先生まで生徒から聞きにいきましょう。

コンサートについての詳細は5月に各ご家庭にご連絡します。

Spotlight on Clubs

ズンバクラブ

Mrs Zornosalにより行われている Zumba Club(ズンバクラブ)は、エレメンタリー生徒がサルサ、メレンゲ、バチャータ、クンビアなどのラテン系ダンスを学ぶ機会を提供しています。ダンスを学ぶ他に、異なったラテン音楽のビートを区別し、様々なリズムを体の動きで表現する方法も学んでいます。



昔の友達の復帰

とても知識があり熱心なMr GuptaのおかげでチェスクラブがKISTIに帰ってきました。このクラブではG6の生徒がG12の生徒と対等にゲームができるだけでなく、勝つ機会も与えてくれます。溜息と共に駒が盤上から無くなっていきます。このクラブはセカンダリー全生徒を対象にしており、サポートの充実した、フレンドリーで静かな戦いの場を提供しています。何年もチェスをしている生徒もいれば始めて数週間の生徒もいます。ゲームをし、戦術について話し合い、パズルを必死に解く事で生徒の戦術理解を深めていきます。何よりも大事なのは、このクラブは楽しいものであり、怖いものではありません。皆様、金曜日の3:30pmには、是非チェスクラブに遊びにきてください。



Secondary SRC

冬のダンスパーティーSnow Ballを行い、学校初となる生徒のニュースレターKISTeensを発行するなど、セカンダリーSRCにとってこの数か月間はまた忙しいものとなりました。SRC規約改訂や、新しい企画提案なども行ってきました。私たちは週に2回ミーティングを行っており、毎週金曜日の放課後はアートの教室にてクラス代表を含めた全SRCメンバー(20名)で集まり、その前に週に一度、企画するために役員だけで集まっています。

前回のダンスパーティー

Snow Ballは130名以上が参加し、大成功となりました。純利益だけで**30,507**円集まり、現在提案している企画に使える事を願っています。会計のMin



Azzamからの写真提供

(G11B)による収支報告はMoodleにあるSecondary BlogにあるSRCのページから見る事ができます。

Snow Ballダンスでは、生徒のアカースティックパフォーマンス、リンボーゲーム、Dance King and Queen competition(ダンスコンテスト)などの様々なイベントが行われました。食べ物と飲み物も提供され、ピザとホットドッグはイベントの半ばで売り切れてしまいました!

最初の生徒ニュースレターとなる、KISTeensも発行し、全生徒に送られました。これには生徒のクラブ、アクティビティ、イベント、C&SやCASについての記事などが掲載されました。アートルームに印刷されたコピーもありますので、是非お立ち寄りになり、ご覧下さい。

SRCはいくつかの提案をしており、許可が出た際にはSecondary Blogに掲載されます。これらの提案はSRCメンバーによって書かれ、セカンダリー校長が確認した後、学校のマネジメントチームに許可を求めることとなっています。一番最近のSRCからの提案は、2011年3月11日に起こった東北大地震のための募金活動です。(募金先は現在検討中です)提案内容は、日本の国旗カラーである、赤と白の服を着てきた場合、200円の募金をするようにお願いするというものでした。

最後に、生徒の皆さんは、アイデアや提案、コメントなどがあった際にはいつでもSRCメンバーに伝えて下さい!

Monica (G12A)
SRC President



ミドルスクールスプリングビー.....

KISTの6-8年生の生徒達は1月に、年に一度行われるスプリングビーに向けて勉強に励みました。英語の先生はこのイベントのために、単語、発音、スプリングを練習する課題を行いました。各学年でスプリングビーを行い、ミドルスクール全体(6-8年生)で競う学年代表を選びました。

学年代表に選ばれた生徒は: **Emiri (G6A), Ikumi (G6A), Jin II (G6A), Igor (G6A), Rachel (G7A), Kunthu (G7A), Amina (G7B), Lae Eun (G7A), Akshara (G8B), Hardik (G8A), Saachin (G8B) and Amartya (G8A).**

スプリングビーは2月8日(金)に授業時間に行われ、G5の生徒もG6-8の生徒と保護者に交わり見学しました。今年は特にレベルが高く、12名全員が最初の3ラウンドを通過しました。Emiriは10ラウンド通過し、5位、Lae Eunは13ラウンドを通過し4位、Aminaはとても良く頑張り、16ラウンド通過し3位になりました。最後の残った二名は、G8のAksharaとSaachinでした。体育館はとても張りつめた空気となり、両者ともとても難しい単語を間違わずにスペルし続けました。二人になってから更に25ラウンド間違えずに続けました。

審査員はスプリングビーのために用意した **ichthyosaur, geosynchronous, thermotropism, quintessense, deluginous, oscilloscope**などの言葉を全て使い切りました。最後の41ラウンド目になり、審査員は辞書を持って来るように頼まなければならない、最後に **segregationist** という単語で勝敗がつかしました。

KISTミドルスクールスプリングビーの勝者は **Saachin** となりました。 **Saachin** の保護者も様子を見守っていました。彼の努力と全ての参加者が見せた英語の上達への熱意を、私たちはとても誇りに思っています。



PTAベルマーク委員より.....

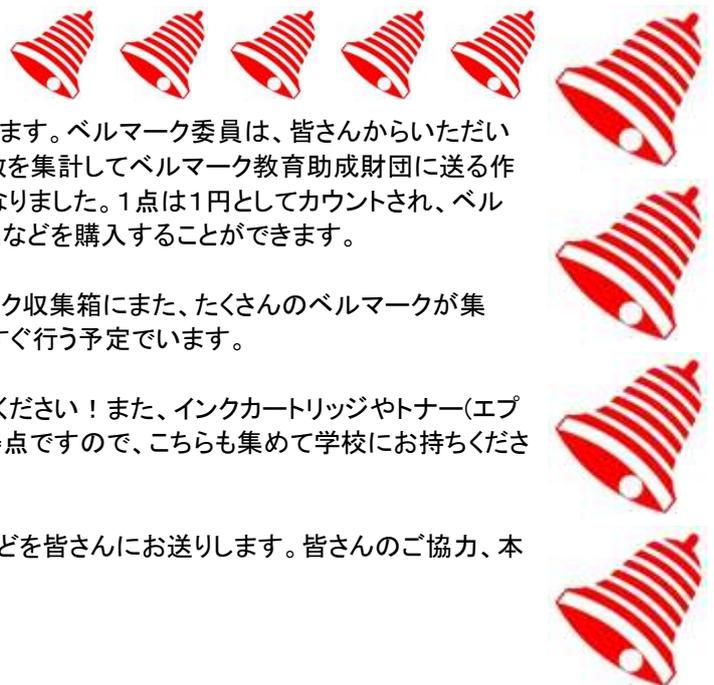
日頃よりベルマーク集めにご協力いただき、ありがとうございます。ベルマーク委員は、皆さんからいただいたベルマーク、インクカートリッジやテトラパックをまとめ、点数を集計してベルマーク教育助成財団に送る作業をします。2012年12月に初めての集計を行い、**27430点**となりました。1点は1円としてカウントされ、ベルマーク教育助成財団のカタログの中から、学校に必要な備品などを購入することができます。

学校のエントランスとスタッフルーム横に置いてあるベルマーク収集箱にまた、たくさんのベルマークが集まっていますので、ベルマーク委員は次回の集計をもうすぐ行う予定です。

どうぞ今後も引き続き、ベルマークを探し、学校に持ってきてください！また、インクカートリッジやトナー(エプソン、ブラザー、キャノンのみ)、テトラパックの紙パックは高得点ですので、こちらも集めて学校にお持ちください。

これからもコメントやKISTからのメールにて、点数のご報告などを皆さんにお送りします。皆さんのご協力、本当にありがとうございます。

PTA Bellmark Committee



図書室ニュース

またやってみました・・・

二回目となるInternational Mother Language Dayが2月21日に行われ、大成功を収めました。たくさんのアクティビティが同時に行われ、エレメンタリーとセカンダリーの生徒、保護者、数国の大使館がこのお祝いの行事に参加しました。民族衣装パレードからこの一日は始まり、エレメンタリーの生徒は色鮮やかな衣装に身を包み国旗をかざしながらフィールドを歩きました。MPRで行われた芸術と文化の展示会では、エレメンタリーとセカンダリーの生徒が創作した作品が展示されました。この展示会では、保護者、カメルーン、カナダ、メキシコ大使館から貸し出された工芸・手芸品なども展示され、他にはマルチメディアで展示されていた世界のダンスと新しい世界各国の言語で書かれた本が生徒達からの人気を集めました。



今年は、去年より多くのセカンダリー生徒がボランティアとして参加し、自身の母国語から10個の単語をエレメンタリーのクラスに教えてくれました。また、保護者の方々の参加も同様に多くなり、ドイツ語、デンマーク語、トルコ語、スペイン語、ヒンドゥー語でストーリーテリングをし、その後に英語の説明をつけて下さりました。生徒達は多言語での話にとっても興味を持っていました。LMCではセカンダリーの生徒に、日本の伝統的なカードゲーム、かるたを見る機会が与えられ、実際にかるたをして遊ぶ事が出来ました。近年かるたの人気の日本でも高まってきており、言語と文化を繋げるのにとっても良い方法だと思います。

参加者全員に、PTA Library Committeeが準備して下さった証明書が感謝のしるしとして送られ、アートワークコンテストで入賞したアート作品提供者には同じくPTA Library CommitteeよりiTunesカードが送られました。セカンダリーのアートコンテストで入賞したのは、**Sara (G7A)**、**Seo Yeon (G7B—姉のChae Younが代わりに作品を紹介)**と **Makoto (G12A)**の三名でした。

PTA Cultural Connections Committee と Library Committeeの皆様、この素晴らしいイベントのお手伝いをして下さった保護者、セカンダリーの生徒と学校スタッフの皆様、ありがとうございました。生徒は、自身の母国語と他者の母国語を通して、KISTの多様な文化を楽しんでいました。民族衣装パレード、展示会、保護者のストーリーテリングや、セカンダリー生徒がエレメンタリーの生徒に話している様子がElementary LibraryのMoodleページから見る事ができます。

これから何があるのでしょうか？

Sakura Medal Bookチャレンジの他に、Sakuraアートコンテスト、Sakuraブックトレイラーがあります。多数のインターナショナルスクールの先生と司書によってこれらのコンテストは行われます。アクティビティに参加を希望する場合はエレメンタリーとLMCのMoodleページをご覧ください。

アクティビティ参加のための期日：

3月22日 - Sakuraアート参加の期日。Ms. Anna (エレメンタリーライブラリー)、もしくはMr. Andi (LMC) に作品提出をしてください

4月12日 - Sakura投票フォームの期日。セカンダリー生徒は、ピンクのHungry Readers Bookletを使い、LMCにあるDropboxを探して下さい。

教科書の交換

LMCはセカンダリー生徒が本を買ったり、売ったりする事ができる“marketplace”という機会を提供します。この機会を利用して教科書にかかる費用を節約する事ができます。詳細はまた追って連絡します。



Staff 10!

今月のStaff 10は、
2011年からTeacher-Librarian(司書教諭)として学校に加わったFerdinand (Andi) Licuanan先生です。



International Mother Language Day
ウェルカムバナーの前にいる Mr Andi

● 出身地について面白いことを教えてください。

私はマニラで生まれ育ち、教育を受けました。私が育った場所では、子供たちが道端で遊び、木登りをし、友達と好きな時間にsari-sari storeという家族経営の小さなお店に行き、スナックを買って食べる事ができました。私の家は通っていた学校から徒歩10分のところにあり、Jeep(ジープニー)と呼ばれる公共交通機関で大統領官邸のマラカニアン宮殿まで10分の距離にあります。クリスマスや大晦日には、出来る限りマニラに帰っています。海外で働いている時には、このような祝日を楽しみにしています。

● 世界で一番好きな場所はどこですか？

ノルウェーは、3年続けてForbes誌付の世界で一番幸せな国に選ばれました。私が一番行ってみたい場所でもあります。ノルウェーで見ることのできるAurora borealis(北極光)は一度見てみたいと思っています。屋上で横になり、ポップコーンを食べながらエンヤの音楽を聞き、美しい夜空を見る事を長年夢みています。この自然現象は私に希望と自然の偉大さへの感謝の気持ちを与えてくれます。

● チャンスが あったら 会って みたい 人は 誰 ですか？ その 理由 を 教 えて ください。

マイケルジャクソンです。彼の音楽を聞いて育ちました。もし彼に会えるのであれば、彼の音楽への貢献に私がどれほど感謝しているか伝えたいと思います。彼の数々の楽曲と人生での苦難は、私が若かった頃に生きる希望と夢を叶える力を与えてくれました。彼の音楽を通してのメッセージにとっても共感しました。

● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

歌とダンスが得意です。小さな頃からこの二つのバランスを保っています。小学生の頃から合唱グループに参加し、高校ではダンスクラブに入り、大学では、多くのイベントでダンスの振り付けを担当しました。このような経験を通して歌とダンスを学びました。

● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

8人の兄弟がいて、私は大家族の末っ子です。6人の姉と2人の兄がいます。義兄弟と甥っ子や姪っ子を含め、家族全員がそろった時の、たくさんの素晴らしい思い出があります。全ての昼食と夜ご飯が宴会みたいになります。

● あなたにとって一番の宝物は？

私はとてもセンチメンタルです。私の大好きな人たちや友人から、特別な機会に贈られたギフトはとても大切にしています。マニラの家にしまっており、まだ部屋に飾られている贈り物もあります。これらは私にとって一番価値のある物であり、愛情や友情、贈り物をしてくれた方々にとって私がいかに大切であるかを思い出させてくれます。

● ご自分を言葉で表現すると？

いつも友人は私の事を、思いやりがあり、スマートで、成功者だと言います。私自身もそのように自分の事を見ています。

● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

今まであった事のみで幸せです。良かった事も悪かった事も含めて全ての経験が今自分のいるところに連れてきてくれました。そしてそれに満足しています。

● 自分を高めるために今やっていることは？

今教育学の修士課程を行っています。これがTeacher-Librarianの仕事に役立つ事を知っています。私がとても恐れている事の一つとして、自身の生徒にテクノロジーで遅れをとる事です。この修士課程を通して学ぶ事で、21世紀の学習者のために私の教員としての知識とスキルを向上させる事ができます。

● ファンに一言お願いします。

この世界は住んでいる私たちにとって広いものですが、幸せに生きるためには自身の場所を見つけなければならないだけです。争ったり、妬んだり、誰かを非難したりする必要はありません。これらの言葉を覚えておいて下さい: Dream. Believe. Survive and Be Happy (夢を見て、信じて、長生きをし、幸せになりましょう)

Office Updates

保護者の自転車の駐輪について

学校の正門入口横にある駐輪場は、生徒およびお子さんを送迎する保護者・学校に用事でこられた保護者のための駐輪場です。ここ最近、保護者の方でここに自転車をとめて出勤される方、ご自分の用事のため使用されている方がいらっやいます。このような場合は駅にある公共の自転車置き場(有料)を必ずご利用ください。当該駐輪場はあくまでもお子さんを送迎するときの一時的な駐輪、SSP等で学校に用事があってこられた方用の駐輪所です。



自家用車で送迎時の一方通行のお願い



皆さまご存じのように学校正門前の道路は非常に狭い道路ですが、行政上は一方通行ではありません。実際に経験された方やご覧になった方も

多いと思いますが、当校生徒の登下校時に正門前付近で双方向からの通行車両と駐停車している車両等で交通障害が発生することが度々問題になっております。近隣のスーパーやドラッグストア、会社等の車両はこの問題を解消するため学校正門前道路は一方通行としています。つきましては、当校保護者の皆様にも同様に下記のように一方通行へのご理解とご協力お願いします。

一方通行ルール: 清洲橋通り側から進入し、清澄通り(赤札堂側)へ抜ける方向で進む。

欠席連絡について

欠席のご連絡は、クラスの先生にではなく、直接学校オフィスのinfo@kist.ed.jpにEメールして下さい。

E-Communications

学校から保護者への正式な連絡はE-Communicationsを通して、contacts@kist.ed.jpから送られますが、このアドレスは送信専用アドレスとなっているため、このアドレスにご連絡を頂いても学校側は連絡を受け取れていません。全ての基本的なEメールでのご連絡はinfo@kist.ed.jpまでお願いします。

アートニュース

アートスケープ2013

3月の初旬はアートスケープの時期です。KISTがこのイベントに参加するのは今年で6年目となりました。G5-G12までの素晴らしい作品が、3月1日から3週間展示されます。全生徒、保護者、スタッフ、コミュニティメンバーの皆様、下記展示期間中に、展示されているKIST生徒の作品をご覧になり、是非活動をサポートして下さい。

アートスケープは、関東のインターナショナルスクール生徒の創作活動と探究を披露する場です。2Dや3D、またビデオ作品なども含め300を超える作品が展示されています。こどもの城は渋谷区表参道にあり、何年もの間アートスケープ会場となっています。また今年もこの大事なイベントの作品を展示をさせて頂く事となりました。入場料はかからず、無料で入場できますが、時間をご確認の上お越し下さるようお願いいたします。

Artscape 2013

March 1 - 17, 2013

開催時間:

火曜日 - 金曜日 12:30 - 17:30

土曜日/日曜日 10:00 - 17:00

月曜日閉館

青山こどもの城

<http://artscapekanto.com>

DP visual arts 作品展示会

4月5日 5-7 p.m, 体育館にて

G12のVisual Arts (美術) の生徒の代わりに、全生徒、保護者、スタッフ、そしてコミュニティメンバーの皆様を、2013年試験として行われる、生徒作品展示会にご招待いたします。今年は10名の生徒が手掛けた様々な素晴らしい作品があります。生徒が2年間かけて創作した作品を見る事のできる唯一の機会は、4月5日(金)の夕方となります。体育館で行われる、インフォーマルな展示会は5:00-7:00pmに行われますので、是非お越し下さい。

展示会の他に、試験日以降から多数の作品が学校中に展示されます。卒業生から2名が美術を専攻する事をご報告できる事をとて嬉しく思っております。セカンダリースクール終了後も続けて美術を学びたいというきっかけになった素晴らしいポートフォリオも展示されます。

ご理解とご協力をお願いします。

Daryl Bates

Secondary Subject Area Coordinator—The Arts

DP Visual Arts Exhibition

Friday, April 5, 2013

5:00 - 7:00 p.m.

KIST Gymnasium

Artscape you are warmly invited to the 'opening party'

2013 opening party
4pm Friday March 1st

National Children's Castle
5-53-1 Jingumae Shibuya-ku,
Tokyo 150-0001

Christian Academy in Japan
Musashino Higashi Gakuen
Tokyo Gakuei (University) International Secondary School
International School of the Sacred Heart
K. International School Tokyo (KIST)
Aoba Japan International School
Sainte Mair International School
Nishimachi International School
Yokohama International School
St. Mary's International School
The American School in Japan
Seisen International School
Tokyo International School
New International School

sponsors:
National Children's Castle
Topnucci Tourist

don't be a square...
... be there!

National Children's Castle: TEL: 03-3797-5656 / FAX: 03-3797-5676



Karuta at KIST

2月21日 日本語科とKIST Librariesでは全日本かるた協会から講師をお招きし、競技かるたに親しむ一日となりました。

かるたはお正月の遊びとして人気の「いろはかるた」や「百人一首」をはじめ、「ひらがなかるた」「都道府県かるた」など多くの種類があり、日本語や日本文化に親しむ遊びとしてお勧めです。その中でも競技かるたは百人一首を使ったかるたが速さと記憶力を競うスポーツとなったもので、特にここ数年はマンガの影響もありとても人気があります。バイリンガル版「ちはやふる」はLMCで所蔵していますので興味ある方はぜひ手にとってみてください。

今回はトップランクの選手・読手の方がいらしてくださいました。

昼休み行われた模範演技には生徒・教職員・保護者さまさまざまな人がはじめてみる競技かるた、歌が詠まれてから取るまでのスピードに驚いたのではないのでしょうか。

“ かるたはスポーツだと思っていなかったし、正直なめていました。だけど、今日のかるた協会の人たちが来てくださって、教えてくれてから、印象が変わりました。今はカッコいいスポーツだと思っています。 ”

午後はBlock 3はG9、Block 4はG10の日本語クラスで競技かるたの模範演技と解説を受け、その後実際に自分たちで体験してみました。

KIST PTA Library Committee と Event Committee には運営にあたってさまざまなご助力をいただきました、ありがとうございました。今後は8月に横浜で行われる国際頭脳スポーツ交流大会参加を目指して練習を行う予定です。興味のある方は G10の Kouta、Tatsuyaもしくは加茂先生までどうぞ。



Sports Update

今年度KISTアスリートは様々なスポーツイベントで学校を代表してきました。

バスケットボールシーズンが終わりに近づいてきており、両方のU18バスケットボールチームが一位でシーズンを終える事でき、プレイオフの準備をしています。素晴らしい結果を期待しており、男女両方ともISTAAの優勝トロフィーを持ち帰って事を願っています。U14チームもとても良い結果を残せております。U14の最終トーナメントは3月9日に行われました。

2月5日、エレメンタリーの競泳選手はBritish School in Tokyo (BST) 昭和キャンパスで行われた競技に参加しま



した。短距離のレースに多数参加し、他校の経験豊富な相手に良い結果を残す事ができました。BSTで行われた今回の水泳大会には、BST, Nishimachi IS, the Montessori School of Tokyo とKISTが参加しました。参加者の皆さん、おめでとう。とても良く学校を代表できました。

3月にはエレメンタリーサッカーとミニバスケットボールチームがISTAAの他校と親善試合やトーナメント形式での試合を行います。

Moodleで"KIST Sports"のこれから行われるスポーツイベントの最新情報をご確認下さい。

Go Comets!

Jay Leroy
Athletics Director



Middle School Brain Bowl

北米五大湖のうち四つはカナダに隣接していますが、していない湖はどちらでしょう？3の3乗と2の5乗どちらの方が大きいでしょう？日本の国花は何でしょう、そしてその花の花びらの枚数はいくつでしょう？2012年の終わりにKate Middletonが入院した理由はなんでしょう？これらの質問に答えられますか？答えられたとしたらMiddle School Brain Bowlに参加できるくらいBrainy(賢い)という事ですよ！

2月13日(水)11校のインターナショナルスクールの生徒がKISTに集まりKPASSP Middle School Brain Bowlが行われました。生徒は他校の生徒とチームを組み、新しい友達を作り、有意義な時間を過ごしました。一日を通して楽しいゲーム、グループアクティビティ、とても人気のあるステージを使つてのブザーラウンドなどが行われました。一日の終わりには、みんなの頭が疲れてきていました。

参加した生徒は他校を迎えるにあたり、主催側としてふさわしい行動をとる事ができました。特に、Ellen (G7A)が参加していたチームは一位となり、Hikaru I (G7B)のチームは二位という成績を残すことができました、おめでとう！Hee Yong (G7B), Nikita (G7B), Rachel (G7A), Sara (G7A), Kevin (G6B), Johnathan (G6B)も参加し、頑張っていました。



College Guidance News

カレッジガイダンスオフィスには今年も、朗報が続々と届いています！今年の12年生には、この時期までにイギリス、アメリカ、カナダ、アジア方面の大学に出願した生徒も多くおり、中にはすでに合格通知を受け取った生徒もいます。ここからお祝い申し上げるとともに、皆さんのますますのご健闘をお祈りしています。

KIST Spring College Fair

3月20日水曜日 (the student-led conferencesの日)、KIST で初めての大学フェアが開催されます。

(2時から4時まで体育館にて)

アメリカ、イギリス、オーストラリア、日本の20以上の大学がこのイベントに参加します。(参加大学リストは下をご覧ください)当日、フェア会場では、各大学のアドミッションオフィスの担当者や教授、同窓生、または現在その大学で勉強しているKIST卒業生に直接会って、話をすることができます。このイベントは主にセカンダリーの生徒と保護者を対象としています。エレメンタリースクールの保護者の方(保護者に限ります。お子さんをご遠慮願います！)も興味のおありの方は、参加可能です。ぜひ、KIST卒業後の進路についての情報を集められるこの機会をご利用下さい。

参加大学(*印の大学は資料のみの参加です)

USA: Colgate University, Cornell University, Columbia University, George Washington University, Harvard College, Smith College, Wellesley College

UK: British Council, City University of London, *Regents College, University of Kent

Australia: Melbourne University

Japan: Doshisha University, International Christian University, *Keio University (GIGA), *Lakeland University, Meiji Gakuin University, Okayama University, Ritsumeikan University (Kyoto), Ritumeikan Asia Pacific University, Sophia University, *Tama University, Tsukuba University, Waseda University (SILS), Yokohama National University

その他のイベント情報 (一般公開フェア)

カナダ留学フェア www.canada-ryugaku-fair.com

カナダ大使館にて 3月19日(火)5時から7時半

3月20日(水)11時から5時半

英国大学フェア www.educationuk.jp

ブリティッシュカウンシルにて 4月1日(月)5時から9時

* 詳細は各サイトをご覧ください。

Alumni talks

2月21日に、KIST2012年度卒業生で、現在ソウル国立大学の一年生の、Su Ah Lee が、お昼休みに9年生から11年生の生徒と会って大学生活について話をしました。

また、3月1日には、同じく2012年度卒業生の

Paolo Bangit とReo Matsui が、お昼休みに11年生と12年生の教室を訪ね、それぞれの大学(Paolo : 立命館アジア太平洋大学、別府、Reo: 立命館大学、京都)での様子について話をしました。

(Mrs) Keiko Okude
College Guidance Counselor

Alumnus Report—1

Aditya Dhara は 2010年のKIST卒業生で、現在アメリカ、ボストンにあるノースイースタン大学3年生で数学を専攻しています。

KISTを2010年に卒業し、ノースイースタン大学で勉強を始めるためにアメリカに来て、想像していた以上のライフスタイルの変化を体験しました。一言でいうと、14時間のフライトで地球の反対側に着き、400人強規模の学校(最近は随分生徒数が増えたようですが)だったKISTから15000人も学生がいる大学のキャンパスに移ったのですが。。。とにかく私にとっては、ものすごい変化でしたが、それ以来、信じられないくらい素晴らしい経験をしています。

ノースイースタン大学は、とてもバラエティに富んだプログラムを提供しています。私の専攻は数学ですが、大学の必修科目として、広い学問分野にわたるさまざまな科目を履修しています。ノースイースタン大学のもっとも大きな特徴は、co-opプログラムという教育です。大学に在籍しながら、4か月から6か月の長期インターンシップができます。大学が専攻科目にふさわしいインターンシップ情報を提供してくれて、学生が応募するのを手伝ってくれるのです。学生は、企業現場での経験を得られ、卒業を待たずして、履歴書を充実させることができます。2012年7月から12月まで、私はco-opプログラムとして、ボストンにあるジョンハンcock保険会社で保険数理士の仕事に就きました。期間中、実際の年金市場データや数理モデルを使う仕事を直に経験することができました。また、この経験は、数学をファイナンスに応用するさまざまな方法を学ぶたいへん貴重な機会となりました。

でも、こういった真面目なコースワークのほかにも、ノースイースタン大学には誇るべきものがたくさんあります。たとえば、有名なホッケーチーム、すばらしい企業家精神講座、洗練された学生組織のリストなど。一日ホッケーの試合を見に行き、翌日に(試合中ハスキー！と叫びすぎて枯れてしまったのをいいたわりながら)コミュニティーサービスにでかけたこともあります。なにかと忙しい私でも、仲間と交流したり、羽目をはずしたりする時間を見つけることは可能です。ある学期には、舞台でのショーに主役級！で参加する機会もありました。本当に楽しかったし、ほかでは絶対得られなかった経験だと思います。家から遠く離れて暮らすことの大変さに、ちょっと落ち込んだ時もあったけど、新しいことに挑戦する機会や、チャンスをもたらえたこと一つ一つが、直面した困難に勝る良い経験になりました。ノースイースタンで大学生活を満喫し、今、ここで、最高に幸せな気分です。

Aditya Dhara
KIST "Class of 2010"
Northeastern University



試験やスポーツイベントの前にこのハスキー像の頭をなでると、良い結果が得られると言われています。

Alumnus Report—2

Su Ah Lee は、2012年のISK卒業生で、現在、韓国のソウルにあるソウル国立大学1年生です

KISTを卒業し、2012年卒の同級生とお別れしてすでに10か月がたちました。現在私は韓国にあるソウル国立大学(SNU)に在籍し、一学期が終わったところです。この短い間に、ほんとうにたくさんことができました。まだ、記憶の新しいうちにこの原稿を書いて、私の経験を皆さんとシェアしたいと思います。これから学校を卒業していく皆さんにとって、卒業後どんなことが予想されるのか、視野を広げる機会になるかもしれません。

まずはじめに、東京という私にとって事実上故郷といっているところを離れるという事実はかなり気の重いことでした。友達や家族に別れを告げ、育った家と私の18年間の人生を後に旅立つのは当時の私にとってはとても難しくストレスフルな決断でした。次は、ソウル大学に進学するという事実でした。私がどんな気持ちだったかを皆さんにわかっていただくために、ここでこの大学について韓国の一般的市民がどのような見方をしているかについて、ちょっと説明します。ソウル大学は韓国のナンバーワン大学で、国中からトップ2パーセントの生徒だけがこの超難関大学に進学できるという特権を与えられます—ほんとに天才ばかりです。これは、誇張でもなんでもなく、事実です。でも、この事実だけで、私はものすごいストレスと不安を感じました。この二つの大きな問題に直面し、私はジレンマに陥りました。東京に残りたい、でもソウル大学が提供してくれる最高レベルの教育も受けてみたい。最終的に、これは長い目でみて自分への投資になると自分に言い聞かせ、ソウル大学に行くことにしました。

思い起こせば、私はいつもいやな状況を思い浮かべて嫌いになる理由を探していました。東京を離れたくない。一人で暮らしたくない、何もかも一人でやるのはいや。寮の狭い部屋は嫌い。冬がひどく寒くていや。大学全体が山の上にあって、キャンパス内を移動するのが大変。授業も教科書も論文も全部韓国語でいや。大学の建物も嫌い。要するに何もかもただ嫌だった。学生たちの典型的な会話は世界経済や韓国外交など真面目な話ばかり。一学期の終わりにもらった成績表を見たとき、ああもう他の大学に移ろうかし



ソウル大学キャンパスから見る山並み

らと真剣に思ったり。。。 (恥ずかしいけど、ほんとです。)

ようやく私の気持ちが落ち着いてきたのは、何人かの友達もできて、徐々に韓国で暮らすことや現地のカルチャーに慣れはじめてきてからです。

はい、まだ韓国社会になじんではいません。はい、寮の私の部屋はとっても小さいです。はい、わたしのGPAはひどいもんです。ただ、私は有難みがわかっていなかったんです。誰もが経験できるわけではない、この特別な環境にいられるなんて、なんて幸運なんだろうと考えていなかったのです。大学の授業で課せられる骨の折れる課題や要求される質の高さを考えるだけで落ち込んでいました。でも、次第にこのような環境は私の人生を大きく向上させてくれると気が付いたのです。高い基準値を期待されることは極めてストレスフルですが、このような状況にいること自体が、恵まれていることだと感じ始めたのです。私は、今まさに世界中で起きていることや問題について知識を得ている人々がいて、その人たちがその問題についてそれぞれの意見を構築してきた場にいるのだと。

今まで私は、こういった高い基準に立ち向かって挑戦し、自分を高める機会をずっとおざなりにしてきました。自分が成長できるチャンスを人生がくれる度に、いつも文句をいったり、だらけて手を抜いたりしていました。でも、ちょっと見方を変えるだけで、直面していることに対して目を背けずに真摯な気持ちで向かい合うことができるのです。ほんと、悪い成績だった。でもソウル大学のこのアグレッシブな環境を利用して、もっと頑張ったら勉強すればもっと良くなる。まもなく、2学期が始まります。私は今、私の大学が与えてくれるどんな困難にも立ち向かっていくと固く決心しました。

Su Ah Lee
KIST "Class of 2012"
Seoul National University



左から Su Ah、Ryosuke (Class of 2012) Mr Rothkopf, Mrs Okude



Su Ah が KIST 生徒に話をしました